

箕輪町男女共同参画 実践プロジェクト案

基本目標	グループ	名称(仮)	目的	内容	井戸端メンバーでやること	町が行うこと
I 男女がともに活躍できる社会のしくみづくり	1	「意見聞いてよ、議員さん！」プロジェクト	議会、審議会等における女性登用の第一歩として、女性の意見を反映してもらうための意見を聞く場をつくる	町の飲食店などを使い、気さくに議員と女性との定期的な意見交換会を行う。すぐに女性議員などになるのが難しくても女性の意見を議会などで代弁してもらう。	・議員との定期的な意見交換会ができることのPR	・議員への意見交換会の提案と依頼
	1	地域おこし協力隊の井戸端会議参加プロジェクト	性別を問わず社会で活躍しやすい環境をつくる	町の地域おこし協力隊に井戸端会議に参加してもらい、だれもが活躍しやすい地域としてのまちづくりを推進する	・地域おこし協力隊への井戸端会議への参加呼びかけ	・井戸端会議の開催場所の提供
	2	いろんな働き方！多彩なお仕事充実プロジェクト	子育てや介護をしながらでも自分の能力を活かして働ける環境をつくる	限定的な時間や条件(※)でも可能な仕事を集約・公募し、子育てや介護を抱えながらも働けるよう支援する(※3時間だけ、リモート業務など)	・仕事を探している住民のネットワークづくり ・できる仕事、条件などの情報集約	・企業への働きかけ／補助金等によるインセンティブ ・求人情報の集約・広報(Web等の活用)
II 性別に関わらず安全・安心に暮らせる環境づくり	2	ジェンダーフリー駆け込み寺プロジェクト	声を上げにくい悩みを、だれもが気軽に相談できるしくみをつくる	悩み相談の方法を多様化。誰にも知られず来訪、SNSやメールで子どもでも発信できる、オープンな相談スペースなど。月1回専門家(カウンセラーなど)を読んで直接話のできる機会をつくるなど。	・オープンな相談スペースへの参加、周囲への呼びかけ	・各種相談窓口・手法の開設、運営
	2	「相談しようしよう！」広報プロジェクト	声を上げにくい悩みを、だれもが気軽に相談できる環境をつくる	様々な相談窓口の情報とあわせて、話をきいてくれる人の顔や雰囲気、事例などを紹介し、「もっと気軽に相談しよう！」と呼びかけるキャンペーンを行う。	・どんな雰囲気なのかを取材、SNSや動画で発信	・広報メディアの提供
III 暮らしにおける男女共同意識をもった行動の促進	1	イベントを楽しみながらのジェンダー平等プロジェクト	イベントを軸に、ジェンダーの平等について学ぶきっかけをつくる	ふくし祭りなど、既存のイベントにおいてジェンダー平等をテーマにした企画を組み込み、多くの人に参加してもらいながら、ジェンダー平等について考えるきっかけをつくる。	・企画、参加	・イベントの開催、広報
	2	多世代交流サロンプロジェクト	世代間交流を通じた男女共同意識の醸成	毎回テーマを定めて、楽しみながら、今後の改善アイデアを出し合う。	・交流会の企画、参加	・場の運営
	3	知らないことを知ろうプロジェクト	普段想像しないひとたちを知ることで多様な考えを醸成	大人が大人を知る異業種交流の場を運営。LGBTQ・議員の一日・異年代交流(妊婦時の両親学級でなく祖父母学級)、活躍女性の話を聞く、など	・交流会の企画、参加	・場の運営
	2	家事の「見える化」プロジェクト	家庭内での家事の協力・分担の呼びかけ	家庭で、だれがなにをしているかを見える化するためのリストアップのツール紹介、勉強会の開催など	・見える化の実践	・ツール制作、場の運営
	3	母の日・父の日大作戦！	母・父である生活を知ること協力しあえる機運を醸成	母・父それぞれのふだんの暮らし、仕事や家事などでどこが大変かなど、夫婦が互いに／子どもと親がそれぞれ学び合う機会をつくる	・広報などで実践をPR?	・広報キャンペーンの展開